

Press Release
【報道関係各位】

2022年6月吉日
ポーラ美術館

ポーラ美術館開館 20 周年記念展「モネからリヒターへ—新収蔵作品を中心に」
「本気の 5 番勝負！ ポーラ美術館×アーティゾン美術館 コレクション対決」
7/23(土)トークイベント開催

2つの美術館の名品が夢の競演、コレクションの魅力を探ります！

ポーラ美術館（神奈川県・箱根町）では、9月6日（火）までポーラ美術館開館 20 周年記念展「モネからリヒターへ—新収蔵作品を中心に」を開催中です。本展の開催を記念して、7月23日（土）に進行役にアートテラー・とに～氏、ゲストにアーティゾン美術館の新畑泰秀氏をお招きしてトークイベントを開催します。※新型コロナウイルスの感染拡大の状況により、イベントの中止・変更の場合がございます。

■「本気の 5 番勝負！ ポーラ美術館×アーティゾン美術館 コレクション対決」

2022年、ポーラ美術館は開館 20 周年、アーティゾン美術館は開館 75 周年をそれぞれ迎えます。日本有数のコレクションを誇る両館には、世界的な名品が多数収蔵されています。本イベントでは、ポーラ美術館が新収蔵の作品を一堂に公開したこの機会に、2つのコレクションから選んだ作品を対決させ、それぞれの特徴や魅力を語り合うとともに、両美術館が作品の保存・収集に取り組むことの意義や今後の活動についてご紹介します。



左) ヴァシリー・カンディンスキー 《自らが輝く》 1924年 油彩/カンヴァス 石橋財団アーティゾン美術館蔵

右) ゲルハルト・リヒター 《抽象絵画(649-2)》 1987年 油彩/カンヴァス ポーラ美術館 © Gerhard Richter 2021 (05102021)

敷居が高いと思われる美術をわかりやすく、かつ面白く伝える“アートテラー”、とに～氏を進行役に迎えて、アーティゾン美術館の新畑泰秀氏と本展担当学芸員・岩崎余帆子が対談します。



日時：2022年7月23日(土) 14:00-15:30 (13:50 開場)

会場：ポーラ美術館 講堂

定員：50名

参加費：無料(当日入館券が必要です)

参加方法：要事前申し込み (Peatix より)

URL：<https://fivematches-pma-arm-0723.peatix.com>

出演：とに～ (アートテラー)

新畑 泰秀 (アーティゾン美術館 教育副部長/学芸員)

岩崎余帆子 (ポーラ美術館学芸課長、本展担当学芸員)

■コレクション 5 番勝負の対決テーマを募集します！

10分×5本でコレクション 5 番勝負をお送りします。現在、【現代アート対決】【人気 No.1 対決】【隠し玉対決】【執念の一品】の4つのテーマが決まっています。残る 1 つはご参加の皆さまからの応募で決定します！

☆子どもが描かれている作品対決／☆ファッション対決／☆ミステリアスな絵対決…など比較してみたいテーマを参加申し込みの際にお知らせください。(Peatix のアンケートに記入欄を設けています)

皆さまからの投稿をお待ちしています。

■ポーラ美術館開館 20 周年記念展「モネからリヒターへ—新収蔵作品を中心に」

会期：2022年4月9日(土)～9月6日(火)

本展覧会は、ポーラ創業者・二代目の鈴木常司が収集したコレクションと、近年に新収蔵した作品を合わせて紹介する初の機会となります。企画にあたって、主要なテーマを「光」としました。モネや印象派の画家たちは光の表現を追究しましたが、リヒターなど現代作家たちの作品にも、光への強い関心がうかがわれます。本展では、当館のコレクションの「現在(いま)」を紹介するとともに、美術館の未来とコレクションの可能性を探ります。



画像：ベルト・モリゾ《ベランダにて》1884年 油彩/カンヴァス ポーラ美術館

会場：ポーラ美術館 展示室 1～5、アトリウム ギャラリー、アトリウム ロビー、森の遊歩道

主催：公益財団法人ポーラ美術振興財団 ポーラ美術館

おもな出品作家：

<第1部 コレクション+新収蔵作品>

ベルト・モリゾ、クロード・モネ、ピエール・オーギュスト・ルノワール、ロベール・ドローネー、ニコラ・ド・スタール、フェルナン・レジェ、ベン・ニコルソン、アンリ・マティス、レオナルド・フジタ(藤田嗣治)、岸田劉生、関根正二、松本竣介、里見勝蔵、佐伯祐三

<第2部 新収蔵作品>

ヴィルヘルム・ハマスホイ、ジャン・デュビュッフエ、モーリス・ルイス、ドナルド・ジャッド、ヘレン・フランケンサラー、パット・ステア、ゲルハルト・リヒター、アニッシュ・カプーア、ケリス・ウィン・エヴァンス、ロニ・ホーン、スーザン・フィリップス、山口長男、山田正亮、難波田龍起、猪熊弦一郎、斎藤義重、白髪一雄、李禹煥、田中敦子、中西夏之、中林忠良、杉本博司、三島喜美代

展覧会特設サイト：<https://www.polamuseum.or.jp/sp/monettorichter/>

■ポーラ美術館について

2002年に「箱根の自然と美術の共生」をコンセプトに神奈川県箱根町に開館。印象派から20世紀にかけての西洋絵画を中心としたコレクションを核とする展覧会を開催する一方で、現代美術の第一線で活躍する作家たちの作品も展示し、同時代の表現へと展望を拡げている。富士箱根伊豆国立公園という立地を生かした森の遊歩道では四季折々の豊かな自然を楽しむ。



開館時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日：会期中無休 ※悪天候による臨時休館あり

所在地：神奈川県足柄下郡箱根町仙石原小塚山 1285

TEL：0460-84-2111

入館料：大人 ¥1,800 / シニア割引（65歳以上） ¥1,600 / 大学・高校生 ¥1,300
中学生以下無料 / 障害者手帳をお持ちの本人及び付添者（1名まで） ¥1,000
※すべて税込 団体割引あり

公式サイト：<https://www.polamuseum.or.jp/>

<報道関係者お問合わせ先>

ポーラ美術館 広報担当：田中・稲見 TEL:0460-84-2111/ FAX:0460-84-3108
ポーラ美術館広報事務局：屋木・平松 TEL: 070-2161-7023
Mail:polamuseum.pr@prap.co.jp